

<p>むら</p>	<ul style="list-style-type: none"> 梅雨期の健康に注意して、ゆったりと関わり、要求や思いを十分に受け止めて安心して過ごせるようにする。 保育士と一緒に様々な遊びを試して好きな遊びを見つける。 	<p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体測定 誕生会 避難訓練 	<p>家庭連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活にも少しずつ慣れてきたが疲れも出てきているので家庭との連携をとり体調管理に気を付ける。 	<p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 園生活にも慣れてきたので、子どもが園に慣れり出してきた。園に入りながら一年前に慣れたように出来た。 6月中旬から、RSウイルスが流行し、今月末には、RSウイルスの流行が収束した方がよいと思う。 園生活に慣れ、特に砂場や遊具に遊ぶことが好きになってきた。
<p>今月の内容(養護・教育等)</p>		<p>環境構成</p>		<p>配慮事項</p>
<ul style="list-style-type: none"> 体調の変化を気にかけて、急な発熱に気を付ける。 ゆったりとした雰囲気の中で保育士といっしょに楽しく過ごす。 気持ちが不安定な子は保育士が受けとめる。 保育士と一緒に好きな遊びを見つけて楽しむ。 噛みつき、転倒には十分に注意をして見ている。 食事の時間が楽しい時間と思えるようにみんな楽しく食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育室内外の安全衛生に留意する。 温度、湿度、換気などに留意する。 特に朝の健康状態を丁寧に一人一人の体調を十分に把握する。 子どもの目の届く範囲の中に興味の出そうなものを用意して自分から好きな遊びを見つけられるようにする。 楽しい雰囲気の中、落ち着いて食事に向かう事ができるよう、テーブルごとに職員を配置し、どの子どもにも目が届くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 様子がおかしいないと思った時には体温を計る。 一人ひとりの関わりを大切にしながら信頼関係を築いていき、安心して過ごせる様にする。 保育士と一緒に遊べるように提案していく。 詰め込みや喉に詰まらせることのないように気をつける。 アレルギーのある子どもには、必ず一人ついて対応をする事を徹底する。 	<p>取り組みの状況と保育士の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の、体温が高めな子は一日中定期的に検温して対応してきた。 梅雨期に、園生活に慣れた子どもが遊びに入り、おもしろい遊びは様々な遊びに誘うことで、一人ひとりにゆとりを確保して対応してきた。 玩具の食玩の玩具が増えたので、テーブルを作ることで雰囲気づくりをした。 レゴブロックや大目玉のブロックを出したことで、子どもたちはおもしろく遊べるようになった。 反応に対して、近寄りすぎたりする子には、近づく様子を見守り、遠ざかる様子を見守り、不安定な子は見守り、落ち着きを取り戻すまで対応してきた。 食事中は、つめつけすぎないように注意し、子どもは、「モグモグ、のめり」など声をかけると喜んで食べている。 食事の時間が楽しく、みんなが楽しく雰囲気づくりをした。 アレルギーのある子どもは、お薬を使用し、保育士と一緒に安心して遊ぶようにした。 	
<p>長時間保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆったりとした雰囲気の中で保育士と安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に安心して過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態や機嫌を見極め傍に寄り添って安心できるようにする。 		